

平成 21 年度  
人材育成・広報委員会  
活動報告書

平成 22 年 8 月

社団法人 日本物流団体連合会



## はじめに

物流は、我が国の経済活動、国民生活に欠くことのできない重要な機能であり、物流なくしてこれらの活動が存立し得ない点で、ライフラインの一部を成すと言っても過言ではありません。しかし、物流の諸活動を担う物流業の「社会的地位」、換言すれば、「一般国民の評価・認知度・理解度」或いは「荷主に対する受注能力・適正運賃獲得への交渉力」は、役割に見合ったものではなく、不当に低いものであると思料します。

社団法人日本物流団体連合会 人材育成・広報委員会は、平成 21 年 6 月 19 日に開催されました、第 18 回通常総会で承認された委員会の改編により発足し、その活動目的・内容の大半は、第 18 回通常総会以前の政策・広報委員会（全 15 回開催）から引き継いだものであり、物流業の社会的地位向上に関する具体的な施策として、①大学寄附講座の開講、②中学生の職場体験の受け入れ、③物流見学ネットワークを中心とした物流施設見学会の受け入れ、④物流教材を補完する教材の作成、⑤物流ライブラリー、等が挙げられます。

本報告書は、第 18 回通常総会後から、平成 22 年 6 月 30 日に開催されました、第 19 回通常総会迄の人材育成・広報委員会の活動を纏めたものであり、平成 21 年度は発足年度である事から、初めに当委員会の活動目的と、運営体制を纏めました。

続いての活動報告は、委員会活動と業務活動に分け、委員会活動の報告に於いては、委員会の開催毎に、業務活動の報告に於いては、上記①～⑤の活動毎に分けて纏めたものであります。

全体の概要については、次ページの「要旨」をご覧ください。

本報告書が、当委員会活動を多くの皆様に広く理解して頂くと共に、物流業の社会的地位向上に関する施策を検討する上で、参考になれば幸甚です。

最後に、本報告書内でもご紹介致しますが、本活動にご理解・ご協力を賜りました関係者様、並びに会員の皆様に対しまして、ここに厚く御礼を申し上げますと共に、引き続きご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

2010 年 8 月

社団法人 日本物流団体連合会  
人材育成・広報委員会  
委員長 渡邊 健二

# 要 旨

## 第1章 人材育成・広報委員会の定義

### ○人材育成・広報委員会の主活動と運営体制について説明

⇒第1回委員会で2つの小委員会を設置した

■詳細については P.2～

## 第2章 委員会活動報告

### ○第1回人材育成・広報委員会の課題・提案事項

- ・物流見学ネットワークの強化、推進に向けて、リピーター確保のための施策、アンケートの実施、等を検討すべき
- ・活動、議論が東京中心のため、もっと全国均一の取り組みとしての活動、議論をすべき
- ・少子高齢化に伴う労働力不足問題をとりあげて欲しい
- ・実務担当者・現場担当者の声を反映できるような体制づくりが必要
- ・当委員会の HP 作成に於いて、広報という見地から、会員限定ではなく一般向けにも開放すべき

■詳細については P.5～

### ○第1回職場体験・施設見学推進小委員会の課題・提案事項

- ・危険を伴う現場での受け入れではなく、ホワイトカラーの仕事での受け入れを検討する
- ・教員とメールでのやり取りができないため、連絡が取りづらい
- ・職場に中学生がいることで社内の活性化に繋がる
- ・中学生は成長の中で個人差が一番大きい年代であり、生徒に個人差がかなりあるという事を理解した上で柔軟に対応していく事が肝要である
- ・余り肩に力を入れず、社会の中の仕組みを少し知ってもらうという気持ちであれば、もっと受け入れが容易になるのではないかと
- ・職場訪問についての対応の検討
- ・受け入れ事業所を登録し、未だ問い合わせの無い企業に対してのフォロー

■詳細については P.21～

### ○第2回職場体験・施設見学推進小委員会の課題・提案事項

- ・地域と共に生きていく事は企業責任であり、「いかにすれば受け入れられるか」を考えるべきである
- ・現状、WEBサイトを検索して、見学Nのページに辿り着く事が難しい
- ・安全面に対する抵抗が拭えない
- ・見学先を探す教員に対してもっとアプローチを図る必要がある
- ・物流連の会員の HP にリンクをはる事によって、検索した時のヒットの確率が上がる

■詳細については P.32～

### ○第1回教材作成検討小委員会の課題・提案事項

- ・新学習指導要領の教科書がどう変化したかを調査・研究する
  - ・社会科の授業数を勘案した上で教材の内容を検討すべきである
  - ・物流単体では無く、荷主企業と連携し、荷物の流れを説明するといった形態が望ましい
  - ・セミナー形式よりも、現場見学会の方がより効果が見込めるのではないかと
  - ・教材の内容よりも、現場の教員が使い易いものを作り上げる必要がある
  - ・職体委と連携してはどうか？
- 詳細については P.46～

## 第3章 業務活動報告

### ○大学寄附講座の開講

大学寄附講座は、関西大学、慶應義塾大学、首都大学東京、の3校で開講

■各講座の講義カリキュラム・講師一覧は P.60～

### ○中学生の職場体験の受け入れ

平成21年度の中学生の職場体験の受け入れは、19の学校、46名の生徒を受け入れ、平成20年度の1校、1名の受け入れを大きく上回る結果となった

また、受け入れ事業所の登録は、31から35事業所と4事業所増やす事ができた

■詳細については P.65～

### ○物流見学ネットワークを中心とした物流施設見学会の受け入れ

平成21年度の物流見学ネットワークの登録は、平成20年度の25社54事業所から、27社68事業所と大幅に増やす事ができた

また、物流施設見学会の受け入れは、9件、322名を受け入れ、例年並みとなった

■詳細については P.77～

### ○物流教育を補完する教材の作成

教材作成検討小委員会の第1回会合で議論し、次回以降、再度検討していく

新たな、ワーキンググループの設置も視野に入れていく

■詳細については P.87、P.45～58

### ○物流ライブラリー

その必要性・効果について教材作成検討小委員会で検討していく予定

■詳細については P.87、P.8～10

以上

# 目 次

## 第1章 人材育成・広報委員会の定義

- I. 活動目的 ..... P. 1
- II. 運営体制 ..... P. 2

## 第2章 委員会活動報告

- I. 人材育成・広報委員会 ..... P. 3
  - 1. 委員名簿 ..... P. 3
  - 2. 第1回人材育成・広報委員会（平成21年10月22日開催） ..... P. 4
    - (1) 実施要領 ..... P. 4
    - (2) 議事内容 ..... P. 5
    - (3) 委員紹介 ..... P.17
- II. 職場体験・施設見学推進小委員会 ..... P.19
  - 1. 委員名簿 ..... P.19
  - 2. 第1回職場体験・施設見学推進小委員会（平成22年3月18日開催） ..... P.20
    - (1) 実施要領 ..... P.20
    - (2) 議事内容 ..... P.21
    - (3) 委員紹介 ..... P.27
    - (4) プレス各紙の掲載記事 ..... P.29
  - 3. 第2回職場体験・施設見学推進小委員会（平成22年4月21日開催） ..... P.31
    - (1) 実施要領 ..... P.31
    - (2) 議事内容 ..... P.32
    - (3) プレス各紙の掲載記事 ..... P.43
- III. 教材作成検討小委員会 ..... P.44
  - 1. 委員名簿 ..... P.44
  - 2. 第1回教材作成検討小委員会（平成22年5月14日開催） ..... P.45
    - (1) 実施要領 ..... P.45
    - (2) 議事内容 ..... P.46
    - (3) 委員紹介 ..... P.55
    - (4) プレス各紙の掲載記事 ..... P.58

## 第3章 業務活動報告

I. 大学寄附講座の開講	P.59
II. 中学生の職場体験の受け入れ	P.65
1. 活動内容	P.66
(1) 東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 青少年課との連携	P.66
(2) 「学職連携ネット・おおた」との連携	P.72
2. 平成21年度「中学生の職場体験の受け入れ」登録企業一覧	P.72
3. 平成21年度「中学生の職場体験の受け入れ」受入実績一覧	P.73
4. 平成21年度「中学生の職場体験の受け入れ」受入事例紹介	P.74
III. 物流見学ネットワークについて	P.77
1. 活動内容	P.78
(1) 会員の皆様向けに登録依頼文書を発送	P.78
(2) 会員の皆様向けに本活動へのヒアリング調査を実施	P.78
(3) 各校長会で取り組みを紹介	P.79
(4) 千葉県総合企画部 政策企画課 地域振興室を訪問	P.80
2. 平成21年度「物流見学ネットワーク」登録企業一覧	P.80
3. 平成21年度「物流見学ネットワーク」受入実績一覧	P.85
4. 平成21年度「物流見学ネットワーク」受入事例紹介	P.85
IV. 物流教育を補完する教材の作成	P.87
V. 物流ライブラリー	P.87
VI. その他広報活動	P.88
1. 子ども霞が関見学デー	P.88
2. 会報への掲載	P.89

※本報告書のデータは、平成22年6月現在のデータを基に纏めたものであります。

以上